

八ヶ岳中尾根～アイスキャンデーフェスに垣間見る人間性～

【報告者】N本

【日時】2017年1月27日-28日

【天候】晴れ

【参加者】N本 Y川 Y本

《コースタイム》

1/27 10:30 美濃戸口へ 11:30 美濃戸 13:00 赤岳鉱泉 14:00 テントを張りジョウゴ沢へ
16:30 赤岳鉱泉にて夜飯準備

1/28 04:00 起床 05:30 出発 05:50 中山尾根分岐 06:30 取り付き。

10:00 稜線 11:45 赤岳鉱泉 14:00 美濃戸口

《 報 告 》

1/27 当日はアイスキャンデーフェスが開催されており信じられないくらいの人がいる。

赤岳鉱泉にテントを張りジョウゴ沢へ。花谷さん情報ではジョウゴ沢は人で溢れているという事だったが、午前中だけだったのか、ほぼ貸切状態であった。F1をフリーでのぼりF2でひたすらリードの練習を行う。新しく買ったタテ爪がよくささる。3.4.回登って撤収。斜度もきつくな、貸切だったのでいろんなラインで練習できた。夜は馬目弘仁さんとヤマテンの猪熊さんの話があるということで聞きに行くが人が多かったので座ってお茶を飲む。

1/28 あれだけ赤岳鉱泉に人がいたので早めに中山尾根に取り付かないとまずいと判断する。先行パーティを途中で追い越したが2人だったので取り付きを譲る。熟知しているのか2人は素早く登っていく。後続はおらず、アイスキャンデーフェスに来る人はあまりアルパインをする人ではないことを知る。雪はそこまでかかっておらず、バイル無しのほうが登りやすそうに見える。これではアイゼン付きフリークライミング。

1ピッチ目は垂直にちかい岩稜の凹角を右から入り左に抜けるY山リード

自分は最後尾だったが朝一番だったせいか、待ち時間のせいか手が異常に冷たい。岩に触れるたび熱が吸い取られていく。ペツルやハーケンが随所に打ってあるので多少のルート変更も可能の様。

2ピッチ目は下部岩稜の抜けまででY川リード

左側を巻き、登りあがる、スラブ状でホールドもバイルがかかるところも少なく個人的に苦勞する。途中カムで支点をとる。

3ピッチ目は雪稜とハイマツ帯をいく

E本リード、立ち木でランニングを取りながらコンテ。

4ピッチ目は上部岩稜で凹角が2連になっているところに行く、E本リード

ほぼ雪の付いていない岩稜なので、バイルの出番はなかったが、少しハングしているところがありアイゼンでドロップニーレストしたり、チムニーで上がったりとなかなか楽しい動きができた。ペツルやハーケンは随所にある。

5、6ピッチ目はすこし斜度のある雪稜をゆく、Y川リードでコンテ。支点がとるところが少なく、ほぼほぼフリー状態。時より悪いところもあり、こまめにランニングをとればよかったと反省。時間は時、12時から赤岳鉱泉で開催されるじゃんけん大会に間に合うという、邪念に負け7ピッチ目はトラバースで地蔵尾根方面へ。

北アルプス、中央アルプス、富士山が綺麗に見える。Y川さんとの山行は学生のころは雨やら地震が多発したが、社会人になってからは快晴である。

結局じゃんけん大会では豪華商品も、ゲットでならず、私欲にまみれた人間性を垣間見る。中山尾根の隣にあり去年行った石尊稜はかなり時間がかかったが、Y川さんの知り合いは同時間ごろに抜けてきていた。ハケ岳のアルパインは雪の状態次第で大きく変わるというのが実感である。

景色は綺麗だったのでよいが、ちゃんとピークを踏みたい。去年は好きなラインを抜けられるよう技術を磨きたいと思ったが、自由に行きたいところに行き、見たい景色を見ることができるよう技術を磨きたいと思いなおした。

《概念図あるいはルート図》

